



Sailing Ahead

2025年3月号

親愛なる PIANC の会員の皆様

3月も終わり、北半球では春、南半球では秋となりました。PIANC も活動期がはじまりました。

本号では2つの MarCom(海港委員会)WG に関する進捗のニュースがあります。WG231 「係船柱と係船フック 'Mooring Bollards and Hooks」及び「船舶への陸電供电ガイドライン 'Guidelines for Onshore Power Supply」です。そして我々の「港湾ターミナルシリーズ」に素晴らしい貢献をもたらす WG224 「漁港計画'Planning of Fishing Ports」の最新の発刊です。

PIANC は Marlog の科学面でのパートナーとして、そのコミットメントを立証しました。今回の第14回マルログ会議がその象徴です。 <https://marlog.aast.edu/en/home#> これまでどおり、各国部会、姉妹機関、プラチナ会員が最新情報を提供しています。The International Association of Drilling Contractors(IADC)の事務総長を務めるルネ・コルマン(Rene Kolman)氏に、PIANC への実りある長期の貢献に対するお祝いを述べたいと思います。

5月も近づき、韓国・釜山での2025年 AGA(年次総会)も迫ってきました。2024年 PIANC 年報の出版準備を進んでいます。周知のとおり熱意溢れる Young Professionals (YP, 若手技術者)も、釜山での同時開催の Biennial Technical Visit (BTV, 隔年実施のテクニカルビジット)に向けて準備をしています。YPのネットワーキングイベントに参加することは、世界中の若手技術者にとり、非常に重要な体験となるでしょう。

さて、PIANC の主要イベントである第11回スマートリバーズ会議にもご注目ください。米国メンフィスで9月にお会いできるのを楽しみにしております。

フランシスコ・エステバン・レフラー(Francisco Esteban Lefler)
PIANC 会長

日程を押さえてください！

PIANC-COCOM セミナー トルコ・イスタンブール -2025年4月10日-



ディロバス・テクノロジー(Dilovas Technology)がスポンサーとなり,PIANC CoCom(国際協力委員会)主催のPIANCセミナーをトルコ・イスタンブールで開催(2025.4.10日)。

本セミナーでは、下記の講演者によるプレゼンテーションが組まれています。

エリック・ブルース氏(Erik Broos) ロッテルダム港,PIANC WG2II 議長(防舷材の設計),
アレックス・ヴァン・デイゼン(Alex Van Deyzen) Royal Haskoning DHV,
デニス・イワノフスキー(Dennis Iwanovski) SFT: SHIBATAFENDERTEAM,
ミシュラ・クマール(Mishra Kumar) Trelleborg Marine Systems,
ファルク・ドガン(Faruk Dogan) Türklīm 事務局長,
ケハン・モラチ(Kayhan Molaci) Dilovas Technology

詳細と全体のプログラムについてはここをクリックして下さい。 [here](#).

PIANC 地中海デイズ 2025 [PIANC Mediterranean Days],モロッコ タンジェ 2025年10月29-30日

モロッコ水資源・設備省とモロッコ港湾・海事協会は、2025年10月29-30日、モロッコ・タンジェにて、PIANC 地中海デイズ 2025 を開催します。

イタリア・パレルモ(2008年),スペイン・バレンシア(2012年),フランス・マルセイユ(2013年),スペイン・セビリア(2018年),フランス・セット(2023年)で成果を収めたこの会議は、初めて地中海の北アフリカ沿岸に移ります。

PIANC 地中海デイズ 2025 の詳細については、

<https://www.pianc.org/pianc-mediterranean-days> または会議フライヤーをご覧ください。
[Conference flyer](#)



会議テーマは、会議フライヤーに記載されています。2025年4月30日までにアブストラクトを右記に提出して下さい。piancmddays2025@mtpnet.gov.ma

主要日程:

- アブストラクト提出締切 : 2025年4月30日
- アブストラクトの選考およびアブストラクト採否通知 : 2025年5月31日
- フルペーパー提示の締め切り : 2025年9月5日
- 会議開催 (地中海デイズ) : 2025年10月29-30日

会議に関するご質問は、[Mrs. Naima HASSINE](mailto:Mrs.Naima.HASSINE) または [Mr. Mohamed ABID](mailto:Mr.Mohamed.ABID) までお問い合わせください。

2025年10月29-30日にタンジェでお会いできるのを楽しみにしています!

PIANC スマートリバーズ会議 [PIANC Smart Rivers] テネシー州メンフィス 2025年9月8-12日

PIANC スマートリバーズ会議 2025 への登録が始まっています!

PIANC USA は、2025年9月8-12日、米国テネシー州メンフィスで PIANC スマートリバーズ会議を開催します。



PIANC スマートリバーズ会議 2025 の登録は、現在受付中です！ 今すぐご登録いただき、世界中の専門家と交流し、内陸水上輸送の持続可能な未来のビジョンを構築しましょう。

内陸水路と持続可能な河川輸送に関するこのプレミアムな国際会議では、テクニカルセッション、[テクニカルツアー](#)、[短期コース](#)、特別なネットワーキングイベントにご参加いただけます。詳しくは [こちらをご覧ください](#)。

PIANC 会員とフルタイムの学生は、登録料が割引になります。待ったなし！ **早期割引は 2025 年 7 月 1 日まで有効**です。この期間限定の割引を利用して、[今すぐ登録](#)しましょう。

PIANC スマートリバーズ会議 2025 の詳細については、[こちらをご覧ください](#)。また、本イベントのスポンサーシップに関心がある方は[スポンサーシップパンフレット](#)をダウンロードしてください！



PIANC-COPEDEC XI インド・チェンナイ 2027 年 2 月 21-26 日

2024 年 12 月 10 日 PIANC 本部、PIANC-COPEDEC XI 国際組織委員会(IOC)とインド工科大学マドラス校(IITM)は、PIANC-COPEDEC XI 会議を 2027 年 2 月にインドのチェンナイで開催する基本合意書 (MOU) を締結しました。

IITM は、PIANC 公式サイトと IITM の公式サイトにリンクするウェブサイトを 2025 年 5 月までに作成する予定です。IITM と PIANC は、初回アナウンスを 2025 年 5 月にデジタルフォームで配信する予定です。

PIANC 委員会からのニュース

MarCom (海港委員会) ニュース

MarCom WG 231 「係船柱とフック」 `Mooring Bollards & Hooks` カリフォルニア州ロングビーチにて会合

PIANC WG231 (係船柱とフック) は 2 月にカリフォルニア州ロングビーチ港湾局から心温まる歓迎を受けました。今回の WG は、(報告書の)内容の細部に関して、継続的なワークショップと議論のため参集しました。

11 名が対面で、5 人がオンラインで参加しました。いつものように、メンバーは北米、南米、ヨーロッパ、オーストラリア、イギリスと国際色豊かです。各章の詳細の原稿作

成はうまく進みました。今回のWGで、私達のこれまでの成果の調整や、一定程度の内容に対する早期のフィードバックを求めるまでになりました。



私達の議論のために素晴らしい会議室を提供してくれた上、WG側からの「成果物となるガイドラインの目的」「完了した作業」「今後の方向性」に関するプレゼンテーションに、ロングビーチ港湾当局の数名のエンジニアが参加するよう手配してくれました。港湾当局の方々からは優れた、深掘りの質問を投げかけていただき、最終刊行物において対処すべく目指していきます。ジョエル・アギュラール氏 (Joel Aguilar) からはロングビーチ港において最近完成または今後のプロジェクトについて非常に興味深いプレゼンテーションがありました。ジョエル氏と担当部局の方々は、WGメンバー滞在中に近くのロサンゼルス港への船上視察も組んでくれました。ロングビーチ港でお世話になった皆さんに絶大なる感謝です！

次回の会合は6月、サウスハンプトン港です。

クリス・ボルトン (Chris Bolton)
WG231 議長 (Chair MarCom WG 231)

進捗状況の更新 PIANC MarCom WG 248 「船舶への陸上給電ガイドライン」`Guidelines for Onshore Power Supply (OPS) for Ships`

PIANC MarCom WG 248 は「船舶への陸上給電ガイドライン」の進展において、開始から著しい進歩を遂げています。現在 35 名のメンバーが積極的に定期的なオンライン会議に参加しています。

ここまでのマイルストーンとなる成果は、進化を続ける海事分野のニーズに確実に添えるよう WG の業務項目・範囲 (TOR) を改訂したことです。また、WG には、ガイドラインの目次案も提示されており、ガイドライン報告書の明確な枠組みを設定したこと、さらには、タスクフォースを設置し、メンバー間の責任分担が明確化されたことで、ガイドラインの体系的な策定が可能になりました。



2025年3月, WG 248では, 非常に前向きな成果をもたらした「対話型・双方向ワークショップ」を開催しました。本セッションでは, 建設的な議論が円滑に進み, 堅固なメンバー間の協力の下, ガイドラインの主要な観点が一層洗練されました。

WGでは, 2025年5月にハンブルクで開催される対面会議の準備を進めています。本会議はハンブルク港湾局 (HPA) が主催するもので, この対面セッションは, メンバーにとり, ガイドライン草案の各項目を更に完成させ, 成果物の次のステップを調整する集中的なワークショップに参加する貴重な機会となります。ハンブルクでの会議は, ガイドラインの作成を推進する上で非常に重要な時となることが期待されています。

MarCom WG 248の詳細・TORについては, PIANCの公式ウェブサイトをご覧ください。

[PIANC's official website](#)

ファウザン・ズルケプリ (Fauzan Zulkhepli)
MarCom WG248 議長 (Chair MarCom WG 231)

YP-Com (若手技術者委員会) ニュース

第9回 YP-Com 隔年テクニカルビジット (BTV) 釜山 2025



世界中のYPにリマインドです。第9回隔年テクニカル・ビジット (BTV) が受付中です！ 2025年5月14日～16日に韓国・釜山で開催されるBTVに参加して, 韓国最大の貿易港を探索, 世界中のPIANC会員との交流, 海事及びウォーターフロント・インフラに関する特別な体験を楽しみましょう。

2年に1回開催されるテクニカル・ビジット (BTV) は, 海事及びウォーターフロント・インフラ分野の専門家を対象として, 2006年に若手技術者委員会 (YP-Com) により創設さ

れた技術視察ツアーです。その後、本ツアーは YP-Com の主要イベントとなっています。過去の象徴的な開催場所としては、ヴェネツィア水門（イタリア）、シンガポール港、マースフラクテ II（オランダ）、マイアミ港（米国）などがありました。

BTV 登録は YP には無料です。しかし、限りがあるのでお急ぎください。BTV では 40 歳以下のみなさんは PIANC 会員の資格の有無を問わずに参加できます。

登録は、ここからアジェンダをチェックして、BTV 詳細を入手して下さい。

[PIANC AGA & BTV 2025](#)

ご質問は組織委員長(ヒョン・ドン・キム, Hyun Dong Kim)までお願いします。

hdkim@pianckorea.org

YP-Com の他の一般ニュースはこちらから引き続きご覧ください。

[PIANC Young Professionals LinkedIn page](#)

次回の YP-Com イベントで皆さんに再会できることを楽しみにしております！

BTV テクニカルセッションの講演者募集

YP-Com では、以下に焦点を当てた 2 つのテクニカルセッションを主催します：

1. 国際的なプロジェクトと革新的な業務に関連する経験
2. PIANC WG への YP の参加

3 月 24 日より応募要領は共有されています。アブストラクト（最大 500 語）の受付を開始します。BTV 参加者のみが提出可能です。引き続き、私たちの LinkedIn ページで更新情報を確認してください！

第 45 回 YP-Com 会議とワークショップ

5 月 15 日（木）14:00-17:00 (UTC+9) 韓国・釜山において第 45 回 YP-Com 会議とワークショップを開催することを、今回会議の代表及びオブザーバーの皆様にお伝えすることをとても嬉しく思います。

ケープタウンでの kongress ににおける実りの多い会議後、世界的な活動の企画と私たち協会の発展を支え続けるために、釜山に再集合することを楽しみにしています。

アニヤ・ブルーニング(Anja Brüning)

YP-Com 事務局

PIANC コミュニティからのニュース

PIANC 各国部会・支部(National Sections or National Divisions)より、活動実績や今後のお知らせがあります。



PIANC オランダ・ニュース

- Boskalis 主催の PIANC イベント（若手とベテランの集い）

[Young Meets Old PIANC Event Hosted by Boskalis](#)



PIANC USA からのニュース

- 今後のイベント：Smart Rivers 2025, Ports '25

[The Vessel_VI-I2_MAR2025](#)

PIANC 参加 第 14 回 MARLOG 会議（エジプト・アレクサンドリア）

コラボレーションの波を起こす：PIANC，アレクサンドリアの Marlog14 会議で表彰

2月23日から25日に、エジプト・アレクサンドリアで開催された第14回国際海上輸送・ロジスティクス会議（MARLOG, the International Maritime Transport and Logistics Conference）では、世界の海事分野の進歩が強調され、PIANCは科学的な側面から同会議を支える役割を果たしました。

PIANCの特使であるババク・バニジャマリ博士(Dr. Babak Banijamali)は、会議の最初の全体セッションの議長を務め、ダミエッタ、ローマ、バレンシア、アルヘシラスの各港湾への寄与の話題も交えて、グリーンポートへの港湾近代化からAI導入の運航システムに至るまでの幅広いテーマに関する世界の専門家による基調講演を企画しました。

会議初日には、Marlog 会議組織委員会から PIANC への特別賞が贈られ、MARLOG に対する PIANC の貢献をたたえました。PIANC 海港委員会（MarCom）副委員長でもあるババク・バニジャマリ博士が、協会を代表してこの榮譽に浴しました。



会議と並行して、PIANC とスエズ運河庁およびエジプト運輸省を含むエジプト政府高官との重要な会議が開催されました。議論の中心は、エジプトにおける PIANC 部会 (NS) の設立についてでした。このことは、PIANC のフランシスコ・エステバン・レフラー会長が詳しく説明したように、知識の共有・伝達の効率化、現地の専門知識の拡大・強化、エジプトの重要インフラ・プロジェクトを世界のベスト・プラクティスと連携させるなど、関連して幾つかの利点を挙げるすることができます。

ババク・バニジャマリ (Babak Banijamali)
PIANC 海港委員会 副委員長 (Vice-Chairman of PIANC MarCom)

出版物

発刊中 (新刊)

以下の出版物が 2025 年 3 月にリリースされました。

- WG 224 (MarCom): 「漁港計画」 `Planning of Fishing Ports`



近日刊行

次の出版物が 2025 年 4 月にリリースされます。

- PIANC 年報 2024

[ここをクリックして、最新の出版物をご覧ください！](#)

PIANC 会員になって節約しましょう。
PIANC の出版物がすべて無料でダウンロード出来ます！

WG メンバーの新規募集

PIANC InCom（内陸水路委員会）と MarCom（海港委員会）では、以下の WG メンバーを募集中です



新 WG 設置 InCom WG257：内陸水路・インフラの運用・モニタリングのためのデジタル・ツイン
メンバー募集締切：2025 年 5 月 15 日

新 WG 設置 MarCom WG268：港湾と水路における「氷」に対する検討
メンバー募集締切：2025 年 5 月 30 日

ご関心ある方は、申込みを各国部会に提出して下さい。各国部会がない場合はこちら
info@pianc.org

姉妹機関からのニュース

IADC ニュース (IADC, International Association of Drilling Contractors)

IADC はアーノルド・ド・ブライン氏(Arnold de Bruijn)をルネ・コールマン氏(René Kolman)氏の後任の事務総長に任命しました。



IADC は、2008 年から国際的に浚渫業界の代表的な立場として活動してきた協会事務総長レネ・コールマン氏の後任として、4月1日付でアーノルド・ド・ブライン氏(1980)を当協会に迎えることを発表。コールマン氏は11月1日付で退職、その後の移行期間を経て、ド・ブライン氏が正式に事務総長に就任します。

アーノルド・ド・ブライン氏は浚渫業界で貴重な経歴を有しています。キャリアのスタートは Royal IHC 社にて、カッター・サクシオン式浚渫船開発マネージャーや、エンジニアリング・マネージャーなどを含む様々な職務を約 12 年間にわたり担当しました。また、同氏は貿易業界団体の分野でも経験があり、ここ 8 年半の間、オランダ海事技術 (Netherlands Maritime Technology, 現 NMT-IRO) に勤務しながら、様々な役職を歴任しています。最近の 2 年間は、チームリーダー部門の管理および経営チームの一員でした。詳細情報はこちらから：

<https://www.iadc-dredging.com/news/iadc-appoints-arnold-de-bruijn-as-successor-to-secretary-general-rene-kolman/>

今後の IADC のイベント概要

20 年以上にわたり、IADC は「浚渫と埋立セミナー」、「持続可能なインフラのための浚渫コース」等の幾つかの専門コースやイベントを企画してきました。

2025 年は下記イベントを計画しています。



- 浚渫と埋立セミナー [Dredging and Reclamation Seminar](#):
2025 年 6 月 16-20 日, Delft (オランダ) (残りわずか!)
- 3 日間コース持続可能なインフラのための浚渫 [Dredging for Sustainable Infrastructure](#):
2025 年 11 月 18-20 日 シンガポール 登録受付中

● 5日間コース浚渫と埋立セミナー Dredging and Reclamation Seminar:

2025年11月17-21日 シンガポール 登録受付中

リア・ファン・レウウエン (Ria van Leeuwen)

Senior PR & Communications Officer IADC

プラチナ会員からのニュース

シバタフェンダーチーム(SFT: SHIBATAFENDERTEAM)からのニュース

オスロからイスタンブールまで：SFTはPIANCイベントを初めてポルトガル語で開催

3月12日、オスロにてPIANCノルウェー、Oslo Havneteknisk Gruppe、Bekaer共催で、海事業界の専門家が参加した港湾ターミナルの計画・設計・運営について討議する技術セミナーが開催されました。マルクス・ブレーハー氏(Markus Bleher, SFTのスカンジナビア地区代表)が参加、意見交換し、この分野における最新情報を把握しました。

4月10日、PIANC CoCom主催のウェビナー(イスタンブール)では、SFTの東部・南東ヨーロッパ・アフリカの販売部門代表(デニス・イワノフスキー, Dennis Iwanovskig)が新しいPIANCガイドラインのセッションを提供します。防舷材システム設計への全体アプローチや、ガイドライン内の推奨・裏書事項について、特に第5章と6章に注目しながら焦点を当てています。本セッションの目的は、専門家に対して、有益となる防舷材スペックの検討や十分な情報提供をサポートすることです。

最後に、PIANCプラチナパートナーとして、SFTは新ガイドラインの研修等の助成、普及拡大に専念してまいります。さらにこのコミットメントにおいて、先日、本年2番目のセミナー「PIANC防舷材ガイドライン2024」を主催し、これは、初めてポルトガル語で実施され、ポルトガル語圏内の海事業界にとり、新ガイドラインをより身近なものとなりました。

エンパー・ドルツ・ゴンザレス(Empar Dolz González)
SFT Spain

以下はPIANCのプラチナパートナーです。



ソーシャルメディアでPIANCをフォローしてください!



PIANC @ <https://www.pianc.org/> にアクセス

<https://www.pianc.org/join-pianc/> でPIANC会員になる